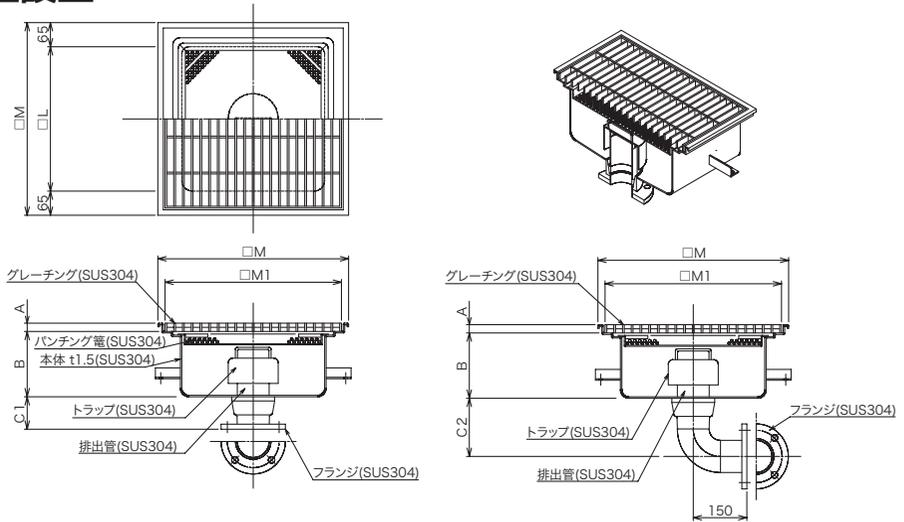




# SHA型 SK-30SHA ~ SK-60SHA

## ■地中埋設型

構造図



■標準仕様寸法

下抜き (V型)

横抜き (H型)

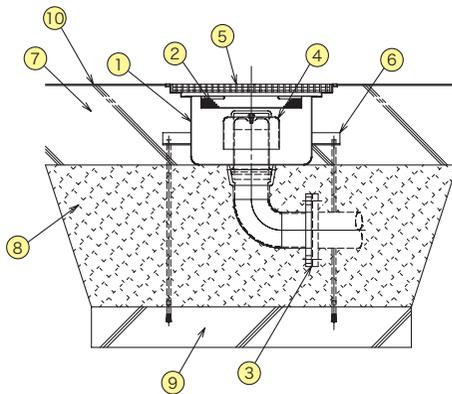
型式	排出管口径	本体寸法 (mm)						
		L	M	M1	A	B	C1	C2
30SHA	80	300	390	360	16	185	90	161.2
35SHA	80	350	440	410	16	185	90	161.2
40SHA	80	400	490	460	16	185	90	161.2
45SHA	80	450	540	510	16	185	90	161.2
50SHA	80	500	590	560	16	185	90	161.2
60SHA	100	600	690	660	21	180	105	201.6

SK 式 HACCP 柵は、仕様を選択できます。

■仕上げ仕様 2B 仕上げ

■蓋仕様 (1) SUS グレーチング (2) パンチング (2B 仕上げ) (3) 滑り止めグレーチング (4) 滑り止めパンチング (5) その他

SHA 型 施工例



部番	品名	材質
1	本体	SUS304
2	受籠	SUS304
3	排出管	SUS304
4	トラップ	SUS304
5	グレーチング蓋	SUS304
6	固定用ピース	SUS304
7	コンクリート	—
8	砂埋め戻し	—
9	捨てコンクリート	—
10	床仕上げ	—

1. 事前に HACCP 柵の取付位置・高さを確認します。この際、コンクリート圧で HACCP 柵が歪まぬように、必要に応じて張木などを施して行ってください。
2. 本体高さと同排出管高さを確認し、HACCP 柵を固定するための捨てコンクリートを打設します。コンクリート厚さは、打込みアンカーの強度を確保できるものとしてください。(通常は 100 ~ 150 mm 程度)
3. 芯出し後、HACCP 柵を全ネジボルトなどで高さ調整して固定します。HACCP 柵がコンクリート打設時に動かぬように鉄筋棒やアングルなどで強固に支持してください。
4. 配管接続後、HACCP 柵の周囲を埋戻し、コンクリートを打設してください。

- 注意 価格は営業担当者にお問い合わせください。
- 注意 上記標準仕様以外の製作も承ります。詳しくは営業担当者にお問い合わせください。